

食育関連事業取り組み事例

報告団体名： 函館市中学校長会

「函館市食育計画策定推進委員会」

<p>事業や取り組みの名称</p>	<p>函館の郷土料理「くじら汁」を知ろう (主催：函館市立亀田中学校)</p>
<p>連携・協力団体名</p>	
<p>日時</p>	<p>令和4年1月19日(水)</p>
<p>対象者・人数</p>	<p>2年5組 30名</p>
<p>場所</p>	<p>2年5組 教室</p>
<p>内容</p>	<p>道南の郷土料理「くじら汁」について理解し、伝統ある地域の食文化を大切にしようとする心をもたせたいというねらいで行いました。</p> <p>事前準備としてアンケートを行い、函館の郷土料理についての理解度を確認してから、郷土料理を大切にしていけるべき理由やくじら汁(由来や歴史、作り方)について、函館とくじらの関係について伝え、地域の食文化を守っていくために何ができるのかを考えさせました。</p> <p>↓授業で使用したスライド</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="486 1285 901 1592" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>②日本の食料自給率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料自給率向上のために日本で生産されている食材を積極的に使い、食べる ・身近にある地場産物を活用する ・郷土料理は、古くからその地域にある食材を使用して作られる <p style="background-color: yellow; padding: 2px;">郷土料理を日常生活に積極的に取り入れていくことで、これからの日本の「食」を守ることもつながる!</p> </div> <div data-bbox="938 1285 1353 1592" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>函館とくじらの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の道南地方では、江戸時代後期からニシン漁が盛んで、くじらはニシンを浜に追いこみ豊漁をもたらす縁起の良い動物とされていた。そのため、初春から始まる「ニシン漁の豊漁」や大きなくじらのように「大物になるように」という願いをこめて、くじら汁を正月に食べていて、今でもその風習は残っている。 ・函館は、日米和親条約による開港でアメリカの捕鯨船(くじらを捕獲する船)へ休憩基地として港を提供したり、かつては近海で実際に捕鯨したりしていたことも関係していて、西部地区に「くじらの供養塔」が建てられている。 ・函館の貝塚からくじらの骨が出土している。 <p>◎このように函館には、昔からくじら文化が根付いていることがわかる。</p> </div> </div> <p>↓生徒が記入したワークシートより抜粋</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="300 1641 794 1854" style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; width: 45%;"> <p>2. わかったこと、これからの生活で実践したいこと</p> <p>函館とくじらの関わりが深いということがわかった。普段は、郷土料理など意識もせずに食べていたのですが、今度からは、郷土料理ということを理解して食べるように思っています。また、自分でも作ってみたいと思います。</p> </div> <div data-bbox="810 1641 1361 1854" style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; width: 45%;"> <p>2. わかったこと、これからの生活で実践したいこと</p> <p>今までには、函館の郷土料理は、知らなかったけれど、今日、函館の郷土料理を知ることができました。これからの生活では、郷土料理を知り、それをつくり、食文化を広め、受け継いでいきたいと思ふ。</p> </div> </div>
<p>函館市の食育推進基本目標</p>	<p>1. 生涯にわたって健康なからだをつくる 2. 豊かな心を育む ③ 函館の豊かな食資源や食文化を通して食の大切さを知る</p>